

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

夢 創造 愛 ～一生懸命はかっこいい～

- ・喜びを感じながら学びを深める心の育成
- ・自他の生命を尊重する心の育成
- ・自ら考え行動する力の育成
- ・未来を切り拓く力の育成

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力

問題発見・解決能力

具体化した資質・能力

〈チャレンジ精神〉〈主体性〉〈積極性〉

中期取組目標

育てたい生徒像

- ・何事にも前向きに取り組み、自己実現のための努力を続ける生徒を育てます。
- ・自他の生命を尊重し、思いやりのある行動ができる生徒を育てます。
- ・学校、地域、社会の仕組みを知り、積極的に関わろうとする生徒を育てます。

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
学習指導	①教科教室の充実で、専門性を高めた授業を実践する。 ②ICT機器の活用で自ら考え自ら解決を図る授業を実践する。 ③定期的な授業公開や授業アンケートを実施し、授業力の向上を図る。 ④ティームティーチングを行い、指導の充実を図る。 ⑤夏季学習会を実施し、学習の習慣化、学力の向上を図る。
担当	学習指導部

学力向上に関わる本校の状況

【令和3年度】全国学力・学習状況調査 結果報告より

(国語)
・全ての領域で全国平均および神奈川県平均を上回っている。特に、「書くこと」について、「文脈の中における語句の意味を理解することや、」や「場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する」に関する問題については全国、県より大きく上回っている。

・すべての領域で上回っているものの「書いた文章を読み返し、語句や文の使い、段落相互の関係に注意して書く」に関する問題は本校、県、全国共に正答率は25～40%程度である。
・課題を把握して、それらの力も十分に定着できる授業展開が必要である。

(数学)
・すべての領域で全国平均および県平均を10%以上上回っている。特に、「目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる」や「平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になること理由を説明することができる」に関する問題等についてはいずれも20%以上上回っている。
・基本の定着が見られるので今後も、継続していきたい。

・すべての領域で全国や県を上回っているものも「データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」に関する問題では、全国、県、本校すべてにおいて10～15%程度の平均正答率であり、全体的に力がついていない部分があるので、課題克服の為に力が必要である。
・「図形の性質」に関しても、全国的に正答率が高くないので、より力が定着できるような授業展開が必要である。

今年度の目標

ICT機器の活用を通して、生徒が課題解決のために自ら調べ、他の意見を聞き、考えをまとめ、課題についての理解を深め、説明する力を身に付ける。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期

国語○ロイノートスケール等、ICT機器を活用し、生徒が課題解決のために主体的に調べたり、意見交換をしたりする環境を充実させる。
社会○各分野において見直しをもてるように、導入を工夫する。特に、地理的分野では地理的事象に対する関心を高めるために映像資料を活用する。
数学○授業で基本から応用まで多様な問題演習を行い、知識・技能の確実な定着とDVD等を利用して視覚的に数学的な見方・考え方を育てる。
理科○表現力を育てるために、レポートを工夫し、文章力や思考力を高める活動を行う。
音楽○生徒同士が音楽表現について意見交換する場を意図的に設定し、よりよい表現を目指すことのできる学習展開を工夫する。
美術○学習のねらいや内容が整理できるようにICT機器を活用し、生徒が意欲をもって表現活動に取り組むことができるようにする。デジタル教科書を効果的に活用し、様々な表現活動や鑑賞活動に意欲的に取り組むことができるようにする。
保健○(第1学年・第2学年)幅広く学習することで知識や技能を身に付け、健康・安全に気をつけて運動を実践できるようにする。(第3学年)発展的な知識や技能を身に付け、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむことができるようにする。
技家○実践的・体験的活動の充実を図るとともに、生徒自ら課題を見出し、解決を図る問題解決的学習活動を設定する。
外国語○デジタル教科書を効果的な活用で、生徒が自主的に学習できるよう指導する。

下半期

国語○前期の取組を見直し、ICT機器等を使用しながら、自分の考えを広げたり、深めたりするような学習を促す。
社会○前期の取組を見直し、自分の考えを深めることができるような資料を提供したり、自分で調べることができる環境を整えたりする。
数学○前期の取組を見直し、定着した力を生活や学習に活用しようとする力を育てる。また、ソフト等を利用して実感を視覚的にとらえ、より理解を深められるようにする。
理科○既習の内容や生活経験を基に、観察、実験の結果を分析して解釈して仮説の妥当性を検討したり、全体を振り返って改善策を考えさせたりすることを大切にすること。
音楽○色々な音の響きやそれらの組み合わせの特徴及び音やフレーズのつながり方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよきや面白さなどから理解させる。
美術○デジタル教科書を効果的に活用し、様々な表現活動や鑑賞活動に意欲的に取り組むことができるようにする。
保健○単元計画、単元配列等の指導計画が「体育・健康プラン」の実現に向けて効果的であったか、また、本校の「体育・健康プラン」にどのような運営改善が必要かを評価し、改善していく。
技家○進んで新たな発見や技術との関わりを理解し、技能を身に付けられるような問題解決学習を設定する。
外国語○デジタル教科書を効果的な活用で、生徒が自主的に学習できるよう指導する。

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
人権教育	①学校活動全体を通して、自己肯定感、有用感を高められるような道徳教育の充実を図り、自分だけでなく、周囲の人の人権を大切にできる指導を行う。 ②学年ごとにテーマを決め、ローテーション道徳を実施し、様々な意見を交換する機会を作る。 ③講師による講演会を開き、生徒の人権感覚を高められる指導を行う。
担当	学習指導部

豊かな心に関わる本校の状況

令和1年度横浜市学力・学習状況調査の「生活意識調査」を分析すると、本校生徒の実態・特徴として、次の点が浮かび上がってきます。

・将来に対する夢や目標を持ってない生徒もいるが、一生懸命取り組めるものがあり実行している。
・自尊感情(「自分にはよいところがある」)は少しずつ持つことができるようになっている。

昨年度は道徳の重点校だったので、研修や研究授業の機会もあり、授業の作り方や、生徒への発問の仕方など、教員の授業力が上がったのではないかと思います。「いじめ」についてはさらにきめ細やかに生徒を見ていく、人権を大切にすることを今後の課題である。

今年度の目標

生徒が自己肯定感、自己有用感を高められるような道徳教育のテーマ選定、指導を学校活動全体を通して実施する

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期

・道徳教育の要となる道徳の時間の指導を通して、子どもが道徳的見方・考え方・感じ方を多様に広げ、自己を深く見つめ、よりよく生きようとする道徳的実践力を身につかせます。
・教師の人権感覚、人権意識を向上させ、人権が尊重される授業作りを行うために校内研修の充実を図ります。さらに、人権尊重の精神を基盤とした教育活動を通して、子どもの自尊感情、自分と他者の人権を大切にしようとする意識を育てます。
・日々の教科領域の授業で、子どもの社会的スキルの育成をねらった授業展開を心がけます。

下半期

・全学級の道徳授業公開を年一回以上実施します。学級懇談会・学年茶話会等で、道徳教育や特別の教科道徳について話題にし、家庭と共通理解、連携を図って指導にあたります。
・日々の教科領域の授業で、子どもの社会的スキルの育成をねらった授業展開を心がけます。
・学年ごとに異なるテーマで講師を招き、社会に出るために必要な人権感覚の獲得を目指す指導を行います。

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健康教育	①HGRスポーツ大会や体力測定週間を設けることで、生徒が自ら健康に関して理解を深めスポーツに取り組める環境を整える。 ②さくらプログラムを周知し、給食の喫食率向上を目指す。また給食を通じて、食材への興味関心を高めることで、食育を推進し、健やかな体の育成を目指す。
担当	体育実行委員会・保健安全指導部

健やかな体に関わる本校の状況

(1)体育・健康に関する実態

・朝食の摂取率は高い。また、昼食は、家庭から弁当を持ってくる生徒も多い。これらから、本校の家庭環境が健全であり、日常的に健康な生活を営んでいることがうかがえる。

・日常の保健体育の授業や体育祭に対する取組は積極的であり、進んで運動に取り組もうとする態度が身につけている。この態度をさらに伸張して、生涯にわたってスポーツを楽しめるパーソナリティを養いたい。
・特活等で保健安全指導部や学級担任を中心に食教育、たばこの害、アルコールの害、薬物の害などの健康教育を行っている。生徒は積極的に学習し、基礎的な知識を身につけている。

・全校生徒の約80%が部活動に加入しており、運動部生徒はおよそ60%である。

(2)体力の概要と要因の分析

・新体力テストの結果は、全国平均や市平均に比べて、多くの種目においても若干ではあるが高い数値を示している。これは、本校の生徒の新体力テストに対する測定態度が真摯であり、全力で取り組むことが1つ理由と考えられる。

今年度の目標

かけがえのない「命」をもつ自分や他の人を大切に、元気なあいさつが溢れる学校を目指す。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期

○体育祭
○第1回HGRスポーツ大会(体育実行委員会主催によるスポーツ大会)
○特別活動(保健指導、安全指導)
○保健整美委員会を中心とした学校保健委員会の実施。
○港南区福祉保健センターの「中学生の食育講座」の実施。
○昼の放送での食育に関する掲示物「はくばくだより日めくり版」の活用。

下半期

○第2回HGRスポーツ大会(体育実行委員会主催によるスポーツ大会)
○体力測定週間(体育実行委員会主催による体力測定)
○特別活動(健康教育＝食教育、たばこの害、アルコールの害、薬物の害)
○昼の放送での食育に関する掲示物「はくばくだより日めくり版」の活用。